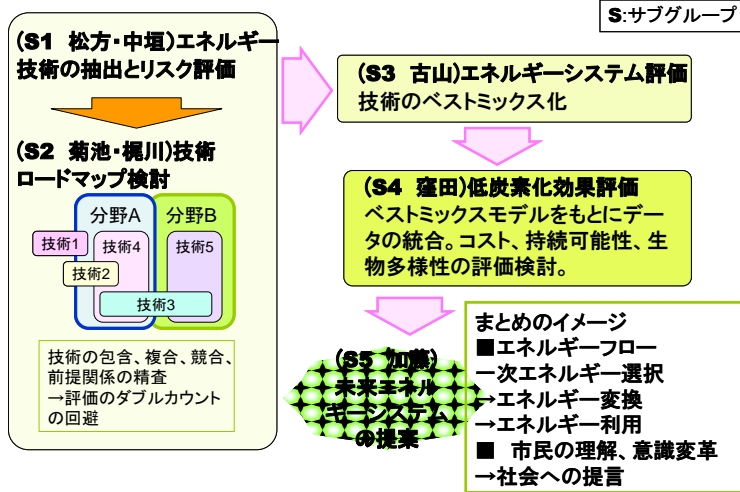


〈研究課題名〉		RFe-11T1	実装可能な技術による我が国の未来エネルギーシステムの構築	
〈研究概要〉 代表者と研究分担者は「実装可能なエネルギー技術で築く未来一骨太のエネルギーロードマップ」（実装骨太）を編纂した。本研究はこれを発展させるものである。本研究では実装骨太著者グループと連携し各エネルギー技術の可能性、リスクを精査し、成果を統合し、より実装性の高いエネルギーシステムの構築を目指す、同時に提案システムの精度の高い評価を行う。実装骨太において種々のエネルギー技術分野について技術可能性と技術のリスクをあわせて評価する手法を既に確立している。 本研究では各技術の効果、比較事例との相対的評価、さらに時系列的な技術進歩、技術リスク予測を進める。著者と連携し各技術に関する将来予測をより詳細に精度高く進める。我が国のエネルギービジョンに寄与する、より実装性の高い未来エネルギーシステム構築にむけての政策提案を行う。				
〈研究代表者〉		加藤 之貴	東京工業大学・原子炉工学研究所・准教授	
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	エネルギー技術のリスクの評価と解析	○	松方 正彦 中垣 隆雄	早稲田大学理工学術院先進理工学研究科応用化学専攻・教授 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科・准教授
(2)	リスク評価に基づく技術ロードマップ検討	○	菊池 康紀 梶川 裕矢	東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻・助教 東京大学大学院工学系研究科総合研究機構イノベーション政策研究センター・特任講師
(3)	エネルギーシステム評価研究	○	古山 通久	九州大学稲盛フロンティア研究センター・教授
(4)	低炭素化効果の評価	○	窪田 光宏	名古屋大学大学院工学研究科エネルギー理工学専攻・助教
(5)	未来エネルギーシステム提案	◎	加藤 之貴	東京工業大学・原子炉工学研究所・准教授

Rfe-11T1 「実装可能な技術による我が国の未来エネルギーシステムの構築」 (研究代表者 加藤之貴、東京工業大学)

研究目的:

- 実装可能な技術による我が国の未来エネルギーシステムの構築
- CO₂削減に向けた、我が国の未来の合理的なエネルギーシステム構築にむけてのエネルギーロードマップの提案
- 検討を元にした政策提案



実施体制

- (1)エネルギー技術の抽出とリスク評価 (早稲田大学)
- (2)技術ロードマップ検討 (東京大学)
- (3)エネルギーシステム評価 (九州大学)
- (4)低炭素化効果評価 (名古屋大学)
- (5)未来エネルギーシステムの提案 (東京工業大学)



研究のイメージ —骨太夢タウン2(実装骨太より)—
エネルギー技術の実装性評価を行い、未来エネルギーシステムの提示と、政策提案を行う